

平成 27 年度学生募集要項について

平成26年6月2日

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科修士課程(医歯科学専攻)における平成27年度の学生募集について、次のとおりお知らせします。

1. 「公衆衛生学コース(MPHコース)」の募集人員

医歯科学専攻の募集人員は、第1回入試及び第2回入試の合計で20人ですが、13頁掲載の「公衆衛生学コース(MPHコース)」については、カリキュラム及び指導体制等の関係から、受入れ人員をおおむね2人としています。

仮に、第1回入試において合格者が上記受入れ人員を満たした場合は、第2回入試において「公衆衛生学コース(MPHコース)」の募集はありませんのでご留意願います。

2. 履修コースの変更について

志願者は、出願時に募集要項添付の「志願票」の「希望する履修コース」欄を選択しますが、出願書類受理後は、一切変更することはできません。

あらかじめ志望する教育研究分野の教員と良く相談のうえ、出願してください。

3. その他

この募集要項について、不明な点がございましたら、次のところに照会してください。

〒700-8530 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ大学院担当

TEL : 086-235-7986 (直通)

Mail : kdf7986@adm.okayama-u.ac.jp

平成27年度

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
修士課程

学生募集要項

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, DENTISTRY AND
PHARMACEUTICAL SCIENCES

OKAYAMA UNIVERSITY

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

連絡先 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課

教務グループ大学院担当

所在地 〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

電話 TEL : 086-235-7986

<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/>

＜＜ 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） ＞＞

大学院医歯薬学総合研究科・医歯科学専攻では、学生の専門分野を問わず、医学・歯学の研究分野を開拓・発展させることのできる高い能力と意思を有する、次のような学生を求めています。

- ・医学・歯学の創造的研究を志す人
- ・高度先端的な医療開発を志す人
- ・学際的かつ国際的研究を志す人

目 次

1	募集人員	1 ページ
2	入試日程	1 ページ
3	出願資格	1 ページ
4	出願資格における個別の入学資格審査	2 ページ
5	障がい等のある方の出願	2 ページ
6	出願手続	2 ページ
7	受験票の交付	4 ページ
8	入学者選抜方法等	5 ページ
9	合格者発表	6 ページ
10	入学手続	6 ページ
11	入試情報の開示	6 ページ
12	その他	7 ページ
	出願資格 事前審査手続要領	9 ページ
	医歯科学専攻案内	11 ページ
	医歯科学専攻担当教授の主な研究内容	18 ページ

入学試験に関する照会先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ大学院担当
TEL : 086-235-7986

募集要項等の郵送を希望する場合は、「医歯薬学総合研究科（修士課程）学生募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒（角形2号の封筒に郵便切手250円分を貼付し送付先住所を記入したもの）を同封して、上記に請求してください。（速達での送付を希望する場合は、上記郵便切手250円分に加えて、速達料金280円分の郵便切手を追加してください。）

1 募集人員

医歯科学専攻 20人

2 入試日程

	第1回入試	第2回入試
出願期間	平成26年7月22日(火) ～ 平成26年7月29日(火)	平成26年12月22日(月) ～ 平成27年1月6日(火)
試験日	(日本人志願者) 平成26年8月19日(火)	(日本人志願者) 平成27年1月20日(火)
	(外国人志願者) 平成26年8月18日(月) 平成26年8月19日(火)	(外国人志願者) 平成27年1月19日(月) 平成27年1月20日(火)
合格者発表	平成26年8月29日(金)	平成27年2月23日(月)

3 出願資格

次のいずれかに該当する者又は平成27年3月までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- (10) 大学に3年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)で大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

(注1) 出願資格(2)に該当する見込みの者とは、次のいずれかの者です。

- ① 独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行する学位授与申請受理証明書を提出できる者
- ② 学位規則(昭和28年文部省令第9号)第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者

(注2) 出願資格(8)～(10)に該当する入学志願者は、出願の前に個別の入学資格審査を行います。

(注3) 出願資格(10)の「これに準ずる者として文部科学大臣が定める者」とは、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の

学校教育における15年の課程を修了した者

- ③ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

4 出願資格における個別の入学資格審査

3の「出願資格」(8)～(10)による入学志願者は、出願の前に入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、9ページの「出願資格 事前審査手続要領」を参照の上、期限までに必要書類を提出してください。

5 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

	第1回入試	第2回入試
相談締切期限	平成26年6月20日（金）	平成26年11月21日（金）
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書、障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。	
請求先・相談先	6 出願手続の（3）出願書類提出先に請求・相談ください。	

6 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、注意事項に留意し、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に下記の提出先へ持参又は出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2) 出願期間

第1回入試	第2回入試
平成26年7月22日（火）～ 平成26年7月29日（火） 必着	平成26年12月22日（月）～ 平成27年1月6日（火） 必着

持参する場合の受付時間は、各日とも9時00分から17時00分までとします。（ただし、土曜日・日曜日を除きます。）

郵送の場合も、上記期限までに必着としますので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。出願期間中に一部の書類を提出し、出願期間後に不足する書類を追加提出することは認められません。

なお、封筒表面に「医歯薬学総合研究科（修士課程）入学願書在中」と朱書きし、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。

(3) 出願書類提出先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ 大学院担当（鹿田キャンパス管理棟2階） TEL:086-235-7986

(4) 出願上の注意

- ① 出願を希望する方は、**あらかじめ志望する教育研究分野の指導教授と面談し、入学後の研究・教育及び修了後の進路について相談してください。**
- ② 出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。
- ③ 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ④ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ⑤ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ⑥ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑦ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。
- ⑧ 医歯科学専攻の授業科目は、平日(日中)に開講されるものが中心となっていますので、社会人(教育機関、企業等に勤務し、入学後もその身分を有する者)の方は、履修についてよく検討の上、出願してください。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
①志願票 ・受験票・写真票	本研究科所定の用紙に入学志願者本人が必要事項を記入してください。
②写真	縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真を「写真票」の所定欄にのりで貼り付けてください。貼る前に、写真の裏面に志望の教育研究分野名と氏名を記入してください。
③入学検定料	30,000円(振込手数料が別に必要です) 入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。)窓口(ATMは利用できません。)からの振込によって納入し、必ず「入学検定料振込証明書」を志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。 [入学検定料の返還について] 次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の入学検定料は返還しません。 ア 入学検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合
④卒業(見込)証明書	出身大学長(学部長)が作成したものを提出してください。(卒業証書や学位記ではありません。) 中国の大学又は大学院を卒業(修了)した方は、⑩の書類を提出してください。
⑤成績証明書	出身大学長(学部長)が作成したものを提出してください。 日本の大学に編入学した方は、編入学以前の学校の成績証明書も提出してください。 中国の大学又は大学院を卒業(修了)した方は、⑩の書類を提出してください。
⑥受験票等送付用封筒	長型3号の封筒に、受験票の送付先(入学志願者本人の住所・氏名及び郵便番号)を明記し、372円分の切手を貼り付けてください。
⑦宛名票シール	合格通知及び入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。
⑧受験許可書	本研究科所定の様式によらず、任意の様式でも可。 出願時に、官公署・企業・病院等に勤務する方は提出が必要です。

<p>【外国人志願者のみ】 ⑨語学力を証明する資料 ※</p>	<p>志望する教育研究分野の教授と相談し、以下のうちいずれか一つ。 ・日本語能力試験 2 級以上、若しくは N 2 以上の合格通知書 ・TOEFL・PBT (ITP 含む) の 500 点以上の成績通知書 ・TOEFL・CBT の 173 点以上の成績通知書 ・TOEFL・iBT の 61 点以上の成績通知書 ・TOEIC の 590 点以上の成績通知書 ・IELTS (overall score) の 5.5 以上の成績通知書</p>
<p>【外国人志願者のみ】 ⑩住民票</p>	<p>現に日本国に在住の外国人は、市区町村長の交付する住民票（在留資格・在留期間が明示されたもの）を提出してください。 出願時に日本国内に在住しない方は、受験のための有効な査証の写を提出してください。</p>
<p>⑪中国の大学又は大学院を卒業（修了）した方については、以下の証明書に関する中国教育部学位与研究生教育发展中心 (CDGDC) 発行の英文の認証書を提出してください。ただし、CDGDC が発行し、岡山大学に直接送付する認証書のみ有効とします。 ・最終学歴の卒業証明書、学位の証明書、成績証明書</p> <p>【出願時に提出するもの】 ・Web サイトで申請した認証申請表（コピーで可） ・CDGDC への払い込み証明書（コピーで可） CDGDC への手続については、12 その他の(4)を参照のこと。</p> <p>なお、出願の直前に中国の大学又は大学院を卒業（修了）するため、出願期間までに CDGDC 発行の認証書の提出が間に合わない場合は、上記の「出願時に提出するもの」の他、最終学歴の卒業証明書、学位の証明書及び成績証明書に関する公証書を提出してください。</p>	

【上記の他、必要によりその他の証明書等の提出を求めることがあります。】

※母国において主たる言語として英語を使用している者又は日本国内の 4 年制大学を卒業した者（卒業見込みを含む）で、上記の⑨語学力を証明する資料を提出できない場合は、第 1 回入試については**平成 26 年 6 月 20 日（金）**までに、第 2 回入試については**平成 26 年 11 月 21 日（金）**までに、(3) 出願書類提出先へ問い合わせてください。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。ただし、入学者については志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を入学料免除等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

7 受験票の交付

(1) 受験票は、下記のとおり本人あて発送します。

なお、到着予定日までに到着しない場合には、「6 出願手続の (3) 出願書類提出先」に連絡してください。

	第 1 回入試	第 2 回入試
送付時期	平成 26 年 8 月 5 日（火）頃	平成 27 年 1 月 13 日（火）頃
到着予定日	平成 26 年 8 月 7 日（木）	平成 27 年 1 月 15 日（木）

(2) 受験票は、試験当日、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

8 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、面接試験及び出願書類等を総合して行います。

(1) 試験日及び試験内容

第1回入試

試験日	試験内容	試験時間	
平成26年8月18日(月)	面接試験(外国人志願者のみ)	11:00~(予定)	
平成26年8月19日(火)	筆記試験 ^{※1}	【「日本人志願者」及び「外国人志願者のうち、3出願資格(1)により出願する者」】 英語 ^{※1} 【「外国人志願者のうち、3出願資格(1)以外により出願する者」】 英語又は日本語から1カ国語を選択	10:00~12:00
	口述試験	専門科目 (志望教育研究分野)	14:00~ ^{※2}

第2回入試

試験日	試験内容	試験時間	
平成27年1月19日(月)	面接試験(外国人志願者のみ)	13:00~(予定)	
平成27年1月20日(火)	筆記試験 ^{※1}	【「日本人志願者」及び「外国人志願者のうち、3出願資格(1)により出願する者」】 英語 ^{※1} 【「外国人志願者のうち、3出願資格(1)以外により出願する者」】 英語又は日本語から1カ国語を選択	10:00~12:00
	口述試験	専門科目 (志望教育研究分野)	14:00~ ^{※2}

※1 英語の試験には辞書の持ち込みを認めます。(冊子型のみ可。電子辞書は不可。)
 持込可能な辞書：英和辞典(ジーニアス、リーダーズ等)、和英辞典、英英辞典
 持込不可の辞書：医歯薬学に関する辞典、英和辞典(ステッドマン医学大事典、
 南山堂医学英和大辞典、ハイネマン歯科英和辞典等)

※2 詳細は、受験票送付時にお知らせします。

(2) 試験場

試験場については、受験票送付時にお知らせします。

9 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

	第1回入試	第2回入試
日時	平成26年8月29日(金) 10時00分(予定)	平成27年2月23日(月) 10時00分(予定)
掲示場所	鹿田キャンパス 管理棟2階	大学院掲示板

- ① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、合格者には同日付けで合格通知書及び入学案内等を、出願時に提出のあった「⑦宛名票シール」を用いて本人あてに送付します。
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
(<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/master/index.html>)
- ③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

10 入学手続

(1) 入学手続方法

入学手続関係書類は、出願時に提出された「⑦宛名票シール」を用いて、平成27年2月23日(月)付けで合格者あてに発送します。

(2) 入学手続期間

平成27年3月12日(木)～13日(金) (予定)

11 入試情報の開示

(1) 開示対象者

平成27年度入試の受験者

(2) 開示する内容

- ① 本人の試験成績(総得点、口述試験結果及び外国人留学生については面接結果)
- ② 合格者の成績情報(本人が受験した選抜の最高点、最低点及び平均点)
ただし、当該選抜の合格者が5人未満の場合は開示しません。

(3) 開示請求方法

「入試情報開示請求書」(所定様式)に受験票を添えて、本人が下記(4)の開示請求受付期間中に、大学院担当あてに提出してください。

なお、「入試情報開示請求書」は大学院担当の窓口で入手するか、郵送により請求してください。

郵送で請求する場合には、返信用封筒(郵便番号・住所・氏名を明記し、82円分の切手を貼った長形3号封筒(縦23.5cm×横12cm))を同封の上、「受験番号」及び「入試情報開示請求書希望」の旨を明記し、大学院担当あてに送付してください。

(4) 開示請求受付期間

平成27年5月1日(金)～6月30日(火)まで
9時00分～17時00分(土・日曜日、祝日は除く。)

(注) 郵送による開示請求の場合は、期間内の消印があるものに限り受け付けます。

(5) 開示方法

「入試情報開示請求書」受理後、通知書の準備ができ次第、速やかに開示(発送)します。(ただし、平成27年6月より前の請求については、6月以降の開示とします。)

請求書類に不備があるときには、受理しない(修正を求める)ことがあります。

12 その他

(1) 入学料及び授業料

入学料	282,000円 [予定額]
授業料 (前・後期共)	267,900円 (年額 535,800円) [予定額]

※ 入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

(2) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

- ・ 学業成績及び収入状況等の条件を満たしていれば、申請により、入学料又は授業料の全学又は半額の免除を受けられる場合があります。
- ・ 学業成績及び収入状況等の条件を満たしていれば、申請により、各種奨学金の支給又は貸与を受けられる場合があります。

(3) 昼夜開講制について

修士課程では、社会人の受講を考慮し、昼間だけでなく夜間等（土曜日、夏季・冬季休業など）においても研究指導を受けることができる場合があります。（大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（昼夜開講制）を適用した場合）

夜間等での研究指導を受けることを希望する場合については、志望する教育研究分野の教授とあらかじめ相談してください。

ただし、夜間等での研究指導を受けることができる場合でも、**講義及び実習等については昼間の開講となります**ので、勤務先ともよく相談の上、出願してください。

(4) 中国教育部学位与研究生教育发展中心 (CDGDC) への手続概要

①中国の大学又は大学院を卒業（修了）した入学志願者は、中国教育部学位与研究生教育发展中心 (CDGDC) の Web サイトで手続を行い、英文の認証書を CDGDC から岡山大学へ直接 EMS により送付するように申請登録を行ってください。

- ・ CDGDC の Web サイト <http://www.cdgdc.edu.cn/>
- ・ 送付先 岡山大学 (登録コード S300101)
- ・ 依頼する証明書 卒業証明書・学位証明書・成績証明書
- ・ 証明書の言語 英語
- ・ 費用の支払い方法 “99bill”による支払い
- ・ 岡山大学への送付方法 EMS

※ CDGDC の Web サイトでの申請登録時には、必ず「申請番号」及び「パスワード」を控えておいてください。

※ CDGDC への申込みには手数料が必要です。

②CDGDC の Web サイトで申請登録後の手続 (CDGDC 宛て)

申請登録後は、速やかに次のものを CDGDC に送付してください。

- ・ 志願者本人の証書に関する書類 (認証の対象となる証書あるいは属する省により提出する書類が異なるので、志願者本人から CDGDC に直接問い合わせてください。)
- ・ 認証申請表
- ・ CDGDC への払い込み証明書 (コピーで可)

③CDGDC の Web サイトで申請登録後の手続 (岡山大学宛て)

6 出願手続 (5) 出願に必要な書類等① [出願時に提出するもの] に記載する出願書類の通り、次のものを岡山大学へ送付してください。

- ・ Web サイトで申請した認証申請表 (コピーで可)
- ・ CDGDC への払い込み証明書 (コピーで可)

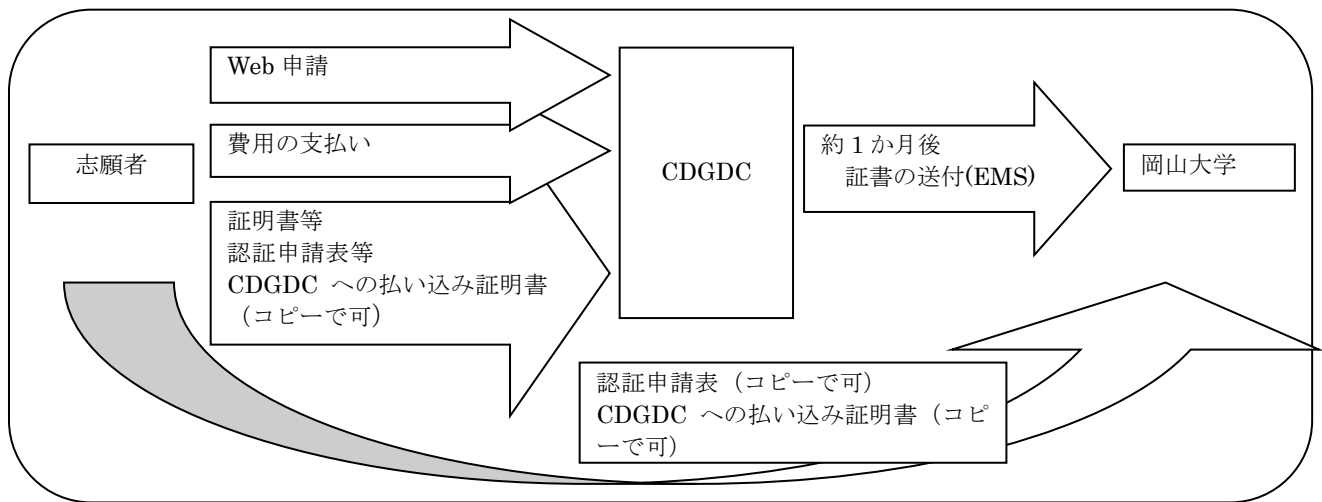
④CDGDC は、英文の認証書を岡山大学へ直接送付してください。

※ 入学志願者本人が CDGDC より受け取った認証書を岡山大学に提出した場合は無効となります。

※ 認証書送付には、「Web サイトでの申し込み」、「証明書等の書類の送付」及び「料金の支払い完了」の3つの手続が必要です。これらすべての手続完了後、CDGDC から岡山大学へ認証書が送付されるまで1か月程度必要です。

CDGDC からの認証書が出願期間内に岡山大学へ届くよう十分な余裕を持って手続を行

ってください。



出願資格 事前審査手続要領

出願資格(8)～(10)により出願を希望する者は、事前に以下の手続を行い、出願資格を認められなければ出願できません。

(1) 受付期間

第1回入試	第2回入試
平成26年6月16日(月)～ 平成26年6月20日(金) 必着	平成26年11月17日(月)～ 平成26年11月21日(金) 必着

上記期間内に下記の提出先へ持参又は受付期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

持参する場合の受付時間は、各日とも9時00分から17時00分までとします。(ただし、土曜日・日曜日を除きます。)

郵送の場合も、上記期限までに必着としますので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

なお、封筒表面に「医歯薬学総合研究科(修士課程)出願資格事前審査書類在中」と朱書きし、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。

(2) 書類提出先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ 大学院担当 (鹿田キャンパス管理棟2階) TEL:086-235-7986
--

(3) 提出書類

- ① 「出願資格(8)又は(10)」によるもの
 - ・ 出願資格認定申請書(本研究科所定の用紙)
 - ・ 最終学歴(在学中の学校)の在学期間証明書 ・ 最終学歴(在学中の学校)の成績証明書^{※3}
 - ・ 履修要覧(学生便覧)等
 - ・ 受入教員の推薦書(受入の経緯及び出願資格があると思われる理由を明記した推薦書)
 - ・ 封筒 1通(定型の封筒に返信先住所等を記入し、372円分の切手を貼付してください。)
- ② 「出願資格(9)」によるもの
 - ・ 出願資格認定申請書(本研究科所定の用紙)
 - ・ 最終学歴の卒業(修了)証明書^{※3} ・ 最終学歴の成績証明書^{※3}
 - ・ 研究計画書(本研究科所定の用紙) ・ 研究業績調書(本研究科所定の用紙)
 - ・ 主要な論文、研究発表等の写し
 - ・ 受入教員の推薦書(受入の経緯及び出願資格があると思われる理由を明記した推薦書)
 - ・ 封筒 1通(定型の封筒に返信先住所等を記入し、372円分の切手を貼付してください。)

注1) 上記の他、必要によりその他の証明書等の提出を求めることがあります。

注2) 提出書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

注3) 中国の大学又は大学院を卒業(修了)した方については、以下の証明書に関する中国教育部学位与研究生教育发展中心(CDGDC)発行の英文の認証書を提出してください。ただし、CDGDCが発行し、岡山大学に直接送付する認証書のみ有効とします。

- ・ 最終学歴の卒業証明書又は修了証明書、学位の証明書及び成績証明書
[事前審査の申請時に提出するもの]
- ・ Webサイトで申請した申請番号がわかるもの

- ・ CDGDC への払い込み証明書（コピーで可）
- ※ CDGDC への手続については，7 ページを参照のこと
- ※ 出願資格事前審査の受付期間内に CDGDC 発行の英文の認証書の送付が間に合わない場合は，最終学歴の卒業証明書又は修了証明書，学位の証明書及び成績証明書の**公証書**を提出してください。

(4) 認定方法

書類審査及び面接による。（面接の日程等の詳細は，後日通知します。）

	第 1 回入試	第 2 回入試
面接日程	平成 26 年 7 月 10 日（木） 13：30～（予定）	平成 26 年 12 月 4 日（木） 13：30～（予定）

事前審査の結果は，後日，申請者へ通知します。

出願資格が認められた方は，「医歯薬学総合研究科 修士課程 学生募集要項」により出願手続を行ってください（事前審査で提出済みの証明書等の書類は，出願手続時に再度提出する必要はありません。）。

医歯科学専攻案内

1 人材養成目的と教育目標

大学・学部を問わず自然科学及び応用科学等の多様な専門性を身につけた学生に対して、医歯学に関する幅広い知識と技術を体系的・集中的に教育することにより、医歯学の先端的な研究及び医療の推進に貢献し得る人材を養成する。さらに、医学、歯学の知識を併せ持つ高度な技術者など新たなニーズに応えるための人材を養成することを目的とする。

この人材養成目的の実現を図るために次の教育目標を掲げる。

- 1) 高度医歯学領域の知識・技術修得を目指す教育の推進
- 2) 高度先端医療の普及及びトランスレーショナルリサーチに対応した人材の養成と研究の推進
- 3) 学際的な医歯学教育・研究の推進

2 標準修業年限 及び 学位

標準修業年限 : 2年

研究内容により次のいずれかの学位を取得できます。

修士（医科学）， 修士（公衆衛生学）， 修士（歯科学）， 修士（学術）

3 修了要件

2年以上在学し、所要科目30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、大学院の行う学位論文審査及び最終試験に合格すること。

4 修了者の予想される進路

医歯科学専攻では、出身大学での専攻を問わず、医学・歯学の基礎及び応用技術の習得を目標としていることから、修了後は、以下のような多様な領域の進路が予想されます。

- ① 医歯薬学総合研究科博士課程に進学し、医学及び歯学の教育・研究者を目指すことが可能です。
- ② 高度な専門性を有する実践家として、大学・民間研究所などの教育・研究機関、企業、行政などの多様な領域において活躍が期待されます。
- ③ 臨床試験（治験・自主臨床試験等）関係では治験管理者、治験コーディネーター（CRC）、研究コーディネーター（SC）、新薬開発担当者、さらに臨床薬理学的手法により臨床研究の方法論並びに薬物作用発現機構の解明等に従事する研究者となることも可能です。また、医療機器企業では、医療機器の開発、治験、保守管理等への貢献が期待されます。
- ④ 歯学材料研究者、高度歯科医療のパートナー、先端的パラデンタル教育指導者、高齢化社会の口腔管理のコーディネーターなど先端的な歯科医療を支援する専門家としての活躍が期待されます。

5 履修コース

医歯科学専攻（修士課程）の修了要件は、「2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、大学院の行う学位論文の審査及び最終試験に合格すること」となっています。単位の修得及び研究指導を受けるための履修コースとして、4つのコースが用意されています。

■一般コース

薬学・工学・理学・農学あるいは人文系などの異分野からの入学者が、医歯学の基礎を講義シリーズにより学び、所属する教育研究分野での研究活動により論文作成を行う最もポピュラーなコースです。修士課程修了後は、就職又は博士課程への進学のどちらも選択可能です。

一般コース 授業科目一覧

講義番号	授業科目	配当年次	備 考	単位数		
				必修	選択必修	選択
321001	医歯科学概論	1		2		
321002	生命倫理学	1		1		
321003	人体構造学	1			[医] 2	
321004	口腔構造機能学	1			[歯] 2	
321005	人体生理学	1		2		
321006	生化学	1		2		
321007	病理病態学	1		2		
321008	総合薬理学	1		2		
321009	生体材料学	1		2		
321010	社会医歯科学	1		2		
321011	臨床医歯科学概論	1		2		
321012	医科学演習	1	受入指導教授による研究指導		[医] 4	
321013	医科学実習	2	受入指導教授による研究指導		[医] 4	
321014	歯科学演習	1	受入指導教授による研究指導		[歯] 4	
321015	歯科学実習	2	受入指導教授による研究指導		[歯] 4	
321016	人体解剖学実習	1		1		
321017	分子医科学総論	1	分子遺伝学, 腫瘍ウイルス学, 細胞化学, 分子医化学, 眼科学, 臨床遺伝子医療学			2
321018	生体防御医学総論	1	免疫学, 病原細菌学, 病原ウイルス学, 小児医科学			2
321019	再生医療学総論	1	細胞生物学, 救急医学, 消化器外科学, 循環器内科学, 呼吸器・乳腺内分泌外科学, 整形外科			2
321020	細胞組織工学総論	1	細胞生理学, 細胞組織学, 人体構成学, システム生理学			2
321021	臨床治験学総論	1	血液・腫瘍・呼吸器内科学, 泌尿器病態学, 臨床薬剤学			2
321022	医療情報学総論	1	医療情報学, 総合内科学, 公衆衛生学, 疫学・衛生学, 医療政策・医療経済学, 生命倫理学			2
321023	脳神経科学総論	1	神経ゲノム学, 生化学, 脳神経内科学, 神経情報学, 脳神経外科学, 精神神経病態学			2
321024	病態機構学総論	1	病理学(腫瘍病理), 薬理学, 皮膚科学, 産科・婦人科学, 病理学(免疫病理), 法医学, 耳鼻咽喉・頭頸部外科学, 腎・免疫・内分泌代謝内科学, 放射線学			2
321025	口腔機能再建学総論	1	インプラント再生補綴学, 口腔生理学, 生体材料学, 歯科保存修復学, 歯科薬理学, 咬合・有床義歯補綴学, 顎口腔再建外科学, 歯科麻酔・特別支援歯学			2
321026	口腔病態学総論	1	歯周病態学, 口腔形態学, 口腔顎顔面外科学, 口腔病理学, 口腔微生物学			2
321027	口腔健康発育学総論	1	口腔生化学, 口腔機能解剖学, 予防歯科学, 小児歯科学, 歯科矯正学			2
修得すべき単位数				18	10	2

■その他の履修コース

一般コース以外に下記の履修コースを設置しています。詳細は、大学院担当へ問い合わせください。

分子イメージング技術修得コース

本コースの目的は、昨今、医療分野において注目される分子イメージング技術を習得することであり、具体的には光イメージング（蛍光，発光），磁気共鳴イメージング（MRI）及び核医学イメージング（PET， SPECT など）などの研究，医療における実際の取扱，小型加速器の取扱やこれを用いた放射性医薬品製造，標識技術を学ぶことです。

このカリキュラムに用いる各種の最先端機器は，おかやまメディカルイノベーションセンターOMICや連携大学院である理化学研究所神戸研究所分子イメージング科学研究センターの装置を利用し，講師も岡山大学と理化学研究所の分子イメージングに関する研究者が担当します。

このコースを選択することで製薬企業や医療機関での分子イメージング技術者としての基礎技術を習得でき，修了後，様々な活躍の場が広がるコースです。

公衆衛生学コース（MPH コース）

本コースの目的は，超高齢社会の到来を踏まえて，地域の医療機関，地方自治体等と連携し，リサーチマインドとすぐれた臨床能力を有する総合診療医並びに医療・保健・福祉従事者を育成することです。欧米では，代表的な大学に公衆衛生大学院が設けられていますが，

本コースは，公衆衛生大学院の国際標準である疫学，生物統計学，環境保健学，社会科学・行動科学方法論及び保健医療管理学の必須5分野を含む16科目を有しており，修了後には「修士(公衆衛生学)」(Master of Public Health)の学位授与を想定しています。

現在各地域においては，地域包括ケアの確立が大きな課題となっていますが，本コース修了者は，医療・保健・福祉従事者，行政マン，研究者等として，地域の医療，保健，福祉に貢献することをめざしています。

6 医歯科学専攻の授業科目概要（一般コース）

授 業 科 目	単 位 数			内 容
	必 修	選 択 必 修	選 択	
医 歯 科 学 概 論	2			<p>医歯学の学問体系やバイオサイエンスに関して概説する。理学・工学・薬学・農学などの知識の医歯学研究への応用の重要性・意義について理解する。英語論文の書き方について解説する。更に国際的に研究成果を展開するために必須である英語教育、国際レベルの特許手続き、ベンチャー企業立ち上げ・運営・企業内研究のノウハウなどについて、専任講師を招聘し、教育する。</p>
生 命 倫 理 学	1			<p>ゲノム解析、遺伝子組み替え技術、生殖医療、移植医療などのテクノロジーの進歩により引き起こされる生命倫理の諸問題について教育し、正しい倫理に基づいて行動できる研究者・医療人を育てる。また、研究成果・遺伝情報などの秘密保持や権利帰属の国際的なルールについても習得する。</p>
人 体 構 造 学		2		<p>人体の正常な形態と構造についての知識を与える。同時に、医学職業人としての観察力を涵養し生命の尊さを考察する。</p>
口 腔 構 造 機 能 学		2		<p>人体の主要器官の形態と機能を解説し、口腔顎顔面領域における諸器官の肉眼ならびに微細構造と機能及びこれらの発生について教授する。</p>
人 体 生 理 学	2			<p>人体の正常な生理機能を学び、恒常性の維持機構即ちホメオダイナミクスの見事さを基礎的に理解することを到達目標とする。病態を理解するにもまず正常な生理機能の理解が必要である。人体機能は人体を構成する分子、細胞、組織、器官、全体の各レベルで十分理解された上で、さらにそれらの機能が有機的に関係付けられて初めて人体の機能が統合的に理解できたとと言える。そこで、人体の統合的機能およびその調節をマイクロとマクロの双方から教授する。</p>
生 化 学	2			<p>生命現象を分子レベルで理解するために、細胞や生体を構成する分子について概説し、さまざまな細胞現象を時空的に制御された分子間相互作用としてとらえることを教授する。</p>
病 理 病 態 学	2			<p>疾病についての基本的な概念を教授し、疾病の発生機序、進展、予後に関する知識を与え、診断、治療の原理を考える。</p>
総 合 薬 理 学	2			<p>薬物の薬理作用について、作用機序、代謝機序、副作用について教授する。臨床における薬物療法の基盤となる知識を与える。</p>

授 業 科 目	単 位 数			内 容
	必 修	選 択 必 修	選 択	
生 体 材 料 学	2			生体に生じた欠損，形成不全の形態と機能を代替する材料（器械を含む）ならびに生体の健康維持，増進を計る器材の基礎的性質および臨床応用について教授する。
社 会 医 歯 科 学	2			社会における医歯学の役割と相互関係について，健康増進医歯学，疫学の理論と方法，疫学で得られた成果，環境化学物質の健康影響評価技術など，必要な基礎的知識の講義を行う。
臨 床 医 歯 科 学 概 論	2			臨床医歯科学においては，疾患の病因に基づいた新しい治療法の開発が重要となる。そのために疾病の概念・疫学・病態生理を十分に理解して現在行っている診断・治療を習得する。
医 科 学 演 習			4	指導教員が所属する講座のセミナーや，各講座が主催する講習会，研修会や，学会が主催する学会大会等に参加する事，さらに国内国外の研究論文を精読することを通じて最新の医科学の成果を学習する。また，医科学研究の遂行に必要な基礎的技術，技能をその理論と共に習得する事により，医科学研究の遂行上に必要な基礎的知識と技能を習得する。
医 科 学 実 習			4	指導教員の指導のもとで自らの研究課題を設定し，研究計画の立案，実験研究を行う。研究成果をまとめて修士論文として公表する。この過程を通じて，研究の進め方，実験結果のまとめ方，論文の書き方，学術雑誌への投稿方法等について学習する。この実習によって高度の専門的知識と技能を体得し，自らの力で課題を設定し問題を解決する能力を身につけた優れた医科学研究者を養成する。
歯 科 学 演 習			4	歯科学の特殊性を理解するとともに，顎，顔面，口腔領域における最新の臨床歯科学の修得および歯科学研究を学習する上で必要な生命科学に関する基礎的知識を取得する。また，各指導教員の所属する学会，研究会等が主催する学術講演会，セミナーおよび研修会などに参加し，口腔諸組織の正常な構造と機能ならびに顎，顔面，口腔領域における疾患を解明するための国内外における基礎的かつ先端的な研究ならびにその動向について認識を深める。これらの知識をもとに歯科学の基礎的な技術や研究方法を習得する。

授 業 科 目	単 位 数			内 容
	必 修	選 択 必 修	選 択	
歯 科 学 実 習		4		各指導教員のもとで、最新の臨床歯科学および歯科学研究、さらに当該分野に関する国内外の基礎的かつ先端的な研究ならびにその動向について、講義および演習などで習得した内容を整理するとともに、それらの基礎的知識をもとに研究テーマを設置する。これについての研究計画・立案に基づいた実験を行い、研究成果をまとめた修士論文を公表することにより、高度の専門的知識と技能を身につけ、自ら課題を設定しそれを解決できる能力を持ち、かつ、現代科学技術の基盤となる基礎科学を担う実力を持った研究者を養成する。
人 体 解 剖 学 実 習	1			本学附属病院の最先端の医療現場を体験し、医療従事者との交流を通じて教育研究者としての心構えを体得させるとともに、事実に基づく医療の評価方法を教授する。夏季に解剖実習を行う。
分 子 医 科 学 総 論			2	生体の構成単位である細胞のゲノム、遺伝子発現、遺伝子産物たるタンパク質（プロテオーム）、細胞外システムとの相互作用、などの総合的解析とそれらの診断、治療、創薬など医療への応用を中心に、最先端の分子生物学的医科学を広い視野で理解する。
生 体 防 御 医 学 総 論			2	生体防御のメカニズムを侵入要因としての感染と防御要因としての免疫系の相互作用として総合的に習得する。具体的には、細菌、ウイルスなどの感染因子と個々の感染因子に対する免疫反応を習得する。一方、宿主免疫応答の基礎を体系的に理解する。
再 生 医 療 学 総 論			2	再生医療を指向する細胞生物学領域の基礎研究、人工臓器・器材の開発研究について、その基礎的知識を習得する。特に殆ど全ての生命科学研究の基盤である細胞培養の知識を技術に重点をおく。
細 胞 組 織 工 学 総 論			2	細胞・組織のバイオメカニクスの基盤および細胞・組織の情報の流れと機能発現のフィジオミックな理論的実験的根拠について、その基礎的知識を習得する。
臨 床 治 験 学 総 論			2	臨床薬理から見た医薬品の臨床試験の方法やその評価方法、並びに新GCPの遵守の基、倫理性・科学性・データの信頼性確保上いかに治験を適正かつ円滑にすすめるべきか講義する。また、治験実施計画書や実施する上での問題点をとり上げ、それぞれの対応について講義を行う。

授 業 科 目	単 位 数			内 容
	必 修	選 択 必 修	選 択	
医療情報学総論			2	医歯学の問題解決および判断支援のために、情報を効率的に保存・取出し・利用する方法を学ぶ。基盤的知識として、コンピュータ科学、情報通信、および統計学に関する基礎を習得する。また、生涯にわたって学習・教育・研究・臨床を適切に行う能力を身につけるため、問題を定式化し、情報を批判的に吟味しながら収集し、客観的な知見に基づいて解決への方策を見出し、これらの過程・結果を適切に記録し共有するための方法論を習得する。応用として、病院情報システム、医療情報の交換、セキュリティ技術についても教育する。
脳神経科学総論			2	分子・細胞から個体に至る各レベルにおける脳神経機能の発現と制御メカニズムを教育する。また、その破綻によって生ずる各種脳疾患についても教授する。
病態機構学総論			2	疾患の発生と進展の基礎について個体、細胞、分子の各レベルで概説すると共に、様々な死因の解明の方法の原理について教授する。
口腔機能再建学総論			2	歯および顎骨の欠損などに伴って生ずる口腔機能障害の病因解明、診断、治療、予防法に関する基礎的および臨床的知識を習得する。
口腔病態学総論			2	口腔・顎・顔面の領域に多く見られる感染・炎症・腫瘍などの疾患の病態を分子・細胞生物学のレベルから解析することによって、病因の解明、診断、治療に関する知識を統合的に講義する。そして、その病態の理解と現状の臨床応用のみならず、将来の研究の方向性を示す。
口腔健康発育学総論			2	口腔、顎、顔面領域の構造と発生、発育について言及すると共に、発育・成長・加齢に伴った構造と機能の変化を疾病と健康の連続相の中で把握する。また、疾病の病因解明、診断治療、予防法に関する基礎的、臨床的知識を教育し、健康の保持・増進に関する概念を涵養する。
取得すべき単位数	18	10	2	

※履修方法：本専攻において修得すべき30単位の履修方法は次による。（一般コース）

必修科目18単位を履修し、選択科目から1科目2単位以上を選択履修するほか、選択必修科目から3科目10単位以上を選択する。ただし、修士（医科学）の学位を希望する者は人体構造学、医学演習、医科学実習を、修士（歯科学）の学位を希望する者は口腔構造機能学、歯科学演習、歯科学実習を履修する。

医歯科学専攻担当教授の主な研究内容

教育研究分野 及び 連絡先	指導教授	研究内容	学区区分
細胞組織学 TEL 086-235-7083	教授 大内 淑代	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型光受容体の細胞組織学的機能解析 2. 発生進化的アプローチによる再生の分子機構の解明 3. 腫瘍関連遺伝子の生物学的・発生学的役割の解明 4. 骨疾患の治療法開発を目指した新しい細胞死関連性石灰化因子の同定と解析 5. 破骨細胞分化と骨リモデリングの分子機構の解明 	医学
人体構成学 TEL 086-235-7088	教授 大塚 愛二	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の諸器官とくに血管系の類型的分析 2. 脈管系の微細構造と分布様式 3. 中枢神経系の細胞外基質, 特にプロテオグリカン 4. グリコカリックスの微細形態と機能 5. 基底膜の構造と機能: 分子構成と発生 6. 軟骨破壊の病態解明とその制御 7. 滑膜増殖機構の解明 8. 組織幹細胞の起源と実態 9. 組織幹細胞の機能破綻と疾患 	医学
システム生理学 TEL 086-235-7112	教授 成瀬 恵治	<ol style="list-style-type: none"> 1. メカニカルストレス受容・応答機構 2. メカノレセプターのクローニング・分子機構 3. 機械受容チャネルのパッチクランプを用いた解析 4. 心臓の機能とエネルギー解析 5. 心不全の分子メカニズム 6. メカニカルストレスと再生医療(骨・軟骨・心筋・皮膚) 7. 生殖補助医療(不妊治療) 8. 医工学機器(平面パッチクランプ装置)の研究・開発 9. 脂質膜・タンパク質の粗視化分子動力学シミュレーション 	医学
分子医化学 TEL 086-235-7127		<ol style="list-style-type: none"> 1. 基底膜の構築・遺伝子発現・器官形成と機能 2. 基底膜の破綻によるがんの浸潤度・悪性度診断 3. 血液脳関門とアストロサイト/血管内皮細胞/マトリックス構築 4. 脳の神経情報伝達を制御するペリニューラルマトリックス 5. 虚血組織に特異的に働くマトリックス分解酵素 6. ADAMTSによる遺伝子治療 7. 変形性関節炎の早期に重要なアグリカナゼの制御メカニズム 8. 関節軟骨変性疾患のバイオイメージングと薬物標的化技術 9. 脊髄損傷における細胞外マトリックス 	医学
循環器内科学 TEL 086-235-7346	教授 伊藤 浩	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不整脈疾患の遺伝子異常の解析 2. 肺動脈平滑筋細胞の増殖抑制法の検討 3. 心筋再生 4. 心筋炎の機序の解明 5. 心筋細胞における酸化ストレスの役割 	医学
救急医学 TEL 086-235-7426	教授 氏家 良人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急医療システムの科学的検証と構築 2. 災害医療システムの科学的検証と構築 3. 侵襲に対する生体内防御機構と制御 4. 各種機械補助の効果と生体侵襲 5. 各種救命救急処置の開発と有効性の検討 	医学
薬理学 TEL 086-235-7140	教授 西堀 正洋	<ol style="list-style-type: none"> 1. 炎症病態の解析による創薬 2. 単クローン抗体を用いた疾患標的バリデーション 3. AGE-RAGE系の疾患病態における意義の解析 4. エンドトキシン血症病態の解析と治療法の開発研究 5. 脳血管障害(脳梗塞, クモ膜下出血, 脳脊髄外傷, パーキンソン病, アルツハイマー病)に対する治療薬開発 6. Neurovascular unit 障害の解析 7. HRGの分子機能解析と創薬研究 8. 遺伝子改変動物を用いたヒスタミンの機能解析 9. オータコイド類による Neuroimmunosynapse形成調節の解析 	医学
歯科薬理学 TEL 086-235-6660	教授 小崎 健一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 癌抑制遺伝子型microRNAの機能ゲノム学的スクリーニングと核酸医薬への応用 2. 癌細胞の病態特異的DNAメチル化異常による悪性形質獲得機構の解明 3. 神経性因子による顎口腔機能調節機構の解析 4. 神経伝達物質トランスポーターの構造・機能・発現に関する研究 5. 個別化医療のための診断, 治療, 予防法の開発 	歯学
神経ゲノム学 TEL 086-235-7096		<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経細胞の遺伝子発現制御と脳神経疾患 2. DNAトポイソメラーゼIIとクロマチンダイナミクス 3. 超らせんDNA結合タンパク質の分子機能解析 	医学
細胞生理学 TEL 086-235-7104	教授 松井 秀樹	<ol style="list-style-type: none"> 1. タンパク質セラピー法の開発と臨床応用への研究(特に悪性腫瘍を標的として) 2. 悪性脳腫瘍や卵巣がんを標的化する中性子補足療法の開発 3. 中枢神経シナプス伝達の分子メカニズムの解明 4. 脳内ホルモン・オキシトシンによる情動制御メカニズムの解明 	医学

生化学 TEL 086-235-7120	教授 竹居 孝二	<ol style="list-style-type: none"> 1. メンブレンダイナミクス（生体膜の動態）の分子機構 <ol style="list-style-type: none"> 1) 細胞内膜輸送（エンドサイトーシス, エンドソームの分子選別）の機構 2) 細胞骨格（アクチン, 微小管）の制御機構 2. メンブレンダイナミクスと細胞機能, 病態 <ol style="list-style-type: none"> 1) 神経シナプス伝達におけるエンドサイトーシス 2) 神経突起形成におけるアクチン制御 3) がん細胞の走化浸潤におけるアクチン制御 4) がん細胞走化機能分子をターゲットとする阻害剤のスクリーニング 5) 癌化シグナル伝達における細胞内膜輸送 6) 精子成熟における食作用 7) エイズウイルスの免疫回避機構と細胞内膜輸送 3. 代謝ネットワークの構造と機能 	医学
神経情報学 TEL 086-235-7410	(准教授) 浅沼 幹人	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーキンソン病などの神経変性疾患モデルの病態解析とその保護・修復 2. 神経疾患の治療標的としてのアストロサイトの役割の解明 3. 乱用薬物（覚醒剤, 違法ドラッグ）の神経毒性と防御 4. 一次繊毛の神経伝達・神経発達障害における役割の解明 	医学
精神神経病態学 TEL 086-235-7239	教授 内富 庸介	<ol style="list-style-type: none"> 1. 致命的疾患（がんなど）と向き合う患者・家族（遺族）に生じるストレスおよびせん妄のリエゾン精神医学的・神経科学的研究 2. 統合失調症および内因性疾患の臨床精神医学的・分子生物学的研究 3. 認知症の臨床精神医学的・神経病理学的研究 4. 気分障害の臨床精神医学的・分子生物学的研究 5. 摂食障害の臨床精神医学的研究 6. 性同一障害の臨床精神医学的研究 	医学
脳神経内科学 TEL 086-235-7365	教授 阿部 康二	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳卒中の臨床的基礎的研究 <ol style="list-style-type: none"> (1) 脳梗塞の病態解明と治療法確立（臨床的研究） (2) 脳梗塞の光イメージング（臨床的基礎的研究） (3) 脳梗塞の分子イメージング（臨床的基礎的研究） (4) 脳梗塞とメタボリック症候群の臨床的解析（臨床的研究） (5) 脳梗塞とメタボリック症候群の基礎的関連研究（基礎的研究） (6) 神経幹細胞を用いた脳梗塞の再生医療（基礎的研究） (7) iPS細胞を用いた脳梗塞の再生医療（基礎的研究） (8) ウイルスベクターを用いた脳梗塞の再生医療（基礎的研究） 2. 認知症の臨床的基礎的研究 <ol style="list-style-type: none"> (1) アルツハイマー病の病態解明と治療法確立（臨床的研究） (2) 認知症の神経心理学的研究（臨床的研究） (3) 認知症の脳画像診断研究（臨床的研究） (4) アルツハイマー病の臨床工学的病態解析（臨床的基礎的研究） (5) アルツハイマー病モデルマウスを用いた病態解析と治療法開発（基礎的研究） (6) アルツハイマー病とメタボリック症候群の臨床的解析（臨床的研究） (7) アルツハイマー病とメタボリック症候群の基礎的関連研究（基礎的研究） (8) アルツハイマー病の新薬治療（臨床的研究） 3. 神経変性疾患の臨床的基礎的研究 <ol style="list-style-type: none"> (1) パーキンソン病の臨床的基礎的研究（臨床的基礎的研究） (2) 筋委縮性側索硬化症の臨床的基礎的研究（臨床的基礎的研究） (3) 神経変性疾患の脳画像科学解析（臨床的基礎的研究） (4) 神経変性疾患の分子イメージング診断（基礎的研究） (5) 神経変性疾患の再生医療開発（臨床的基礎的研究） 4. 生活習慣病・メタボリック症候群と神経内科疾患の臨床的基礎的研究 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生活習慣病・メタボリック症候群とアルツハイマー病（臨床的基礎的研究） (2) 生活習慣病・メタボリック症候群と認知症（臨床的基礎的研究） (3) 生活習慣病・メタボリック症候群のモデルマウス研究（基礎的研究） 	医学
病理学（免疫病理） TEL 086-235-7141	教授 松川 昭博	<ol style="list-style-type: none"> 1. 炎症・炎症性疾患の分子基盤解明 2. 炎症とがん 3. サイトカイン・ケモカインと疾患 4. 炎症とサイトカン情報伝達 5. インフルエンザ感染とエピジェネティクス制御 	医学
細胞化学 TEL 086-235-7402		<ol style="list-style-type: none"> 1. ポルフィリンによるがん治療法の分子機構の解析 2. 生体におけるミトコンドリア新生のメカニズムと生理的意義 3. 動脈硬化, 抗リン脂質抗体症候群の病態生化学的研究 4. 分子イメージングによる動脈硬化・がんの新規標的医療技術の開発研究 	医学

<p>腎・免疫・内分泌代謝内科学</p> <p>TEL 086-235-7232</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1. 糖尿病と糖尿病合併症の発症機構の解明と新しい治療法の開発 2. IgA腎症の成因解明と新規治療の開発 3. 腎再生へむけて：ネフロン構造再構築及びそれに関する幹細胞の研究 4. 急性腎障害(AKD)発症および重症化予知バイオマーカーの検討 5. 血管新生関連因子調節を介した腎障害進展制御治療法の開発 6. 自己免疫疾患の成立・進展機構の解明(SLE) 7. 血管作動物質による血圧調節機構及び高血圧の発症・進展機構の解明 8. 骨形成蛋白(BMP)による内分泌調節機構の解明と臨床応用 9. 動脈硬化の成因の解明と治療法の開発 10. 大動脈瘤の成因及び進展機序の解明と治療的試み 11. 腹膜硬化症進展機序の解明と治療的試み 12. 腹膜透析に関する再生療法と新たな腹膜機能評価法の開発 13. 診療行動の解析に基づいた自己免疫疾患治療プロトコル作成システムの開発 	<p>医学</p>
<p>小児医科学</p> <p>TEL 086-235-7247</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1. 中枢神経ウイルス感染症の宿主側発症因子および病態解析と治療法の確立 2. 小児炎症疾患における病態解析とそれに基づく新規治療法開発の試み 3. 先天性心疾患の生体反応と非観血的治療法の確立 4. 小児がんの遺伝子診断と造血幹細胞移植に関する研究 5. 骨系統疾患の遺伝子解析に基づく新しい治療法の確立 6. ビタミンDの作用機構と臨床応用に関する研究 7. 思春期発来機構の解明と成長における成長因子の役割 8. 小児期心身症(特に不登校, 神経性食欲不振症)の誘因の評価と新しい治療法の確立 9. ハイリスク新生児の管理向上と長期予後改善に関する研究 10. 周産期における酸化ストレスの病態に関する研究 	<p>医学</p>
<p>皮膚科学</p> <p>TEL 086-235-7282</p>	<p>教授 岩月 啓氏</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 皮膚における免疫現象の解析 2. ヘルペスウイルス関連皮膚疾患の病態解明 3. 表皮ケラチノサイトの分化と角化異常の解明 4. 自己免疫性皮膚疾患の病態解明 5. 皮膚リンパ腫の病態解明 6. 皮膚細菌感染症と抗菌ペプチド 	<p>医学</p>
<p>泌尿器病態学</p> <p>TEL 086-235-7284</p>	<p>教授 公文 裕巳</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前立腺癌・腎癌に対する遺伝子・細胞治療の基礎的・臨床的研究 2. 尿路上皮癌に対する標的医療の開発, 研究 3. 尿路癌における抗癌剤耐性にに関する研究 4. アニマルモデルを用いた低侵襲治療の開発研究 5. iPS細胞を用いた尿道括約筋機能再生のための基盤的研究 6. 超音波カラードプラー法を用いたクリトリス血流の評価: 骨盤手術による影響 7. 女性泌尿器科疾患患者における性機能調査 8. BPH, OAB患者における新しいバイオマーカーとしての尿中NGFに関する研究 9. 性ホルモン投与による性同一性障害患者の身体的生化学的変化の臨床研究 10. 性機能に関する脳機能局在の解析 11. 性ホルモンの代謝機能への影響に関する臨床的研究 12. 腎移植時の虚血再灌流障害の研究 13. 難治性尿路性器感染症の分子イメージングによる解析と薬剤投与方法の解析 14. 薬剤耐性菌による尿路バイオフィーム感染症に対する治療法の確立 15. 尿路性器感染症における薬剤耐性菌の遺伝子解析と予防・治療法に関する研究 16. 性感染症の原因微生物の探索研究と疫学調査 	<p>医学</p>
<p>産科・婦人科学</p> <p>TEL 086-235-7317</p>	<p>教授 平松 祐司</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠糖尿病と妊娠高血圧症候群の病態解析 2. 核内受容体および内分泌攪乱物質の分子内分泌学的検討 3. 婦人科癌に対する遺伝子治療, 分子標的治療の基礎研究 4. 婦人科癌と耐糖能異常 5. 悪性腫瘍の遺伝子解析 6. 不育症, 習慣性流産に関する研究 7. 子宮内膜症に関する研究 8. 多嚢胞性卵巣 9. 性同一性障害 	<p>医学</p>
<p>口腔病理学</p> <p>TEL 086-235-6651</p>	<p>教授 長塚 仁</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔癌の癌および癌抑制遺伝子解析 2. 歯原性腫瘍の病理発生・病態機能解明に関する研究 3. 頭頸部腫瘍の外科病理と免疫組織化学的, 分子病理学的研究 4. 幹細胞を用いた歯牙・骨組織再生に関する分子細胞学的研究 5. 骨髄由来細胞の細胞分化および機能に関する研究 	<p>歯学</p>
<p>歯周病態学</p> <p>TEL 086-235-6675</p>	<p>教授 高柴 正悟</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周・歯内疾患の病因に関する細菌学的, 免疫学的及び分子細胞生物学的な基礎及び臨床研究 2. 歯周病の発症前診断と遺伝子診断の研究 3. 歯の移植と歯周組織再生の研究 4. 感染制御, 免疫制御および組織再生に関わる局所的な遺伝子・サイトカイン・細胞治療の研究 5. 局所慢性炎症の全身への影響に関する研究 (ペリオドンタルメディシン研究) 	<p>歯学</p>

病理学（腫瘍病理） TEL 086-235-7149	教授 吉野 正	1. 悪性リンパ腫の臨床病理 2. IgG4関連疾患 3. 濾胞性リンパ腫, 特に節外性病変の研究 4. MALTリンパ腫の発生病理 5. 成人T細胞性白血球/リンパ腫の分子病理	医学
免疫学 TEL 086-235-7187	教授 鶴殿 平一郎	1. がん抗原の解析 (1) 抗原遺伝子の解析 (2) T細胞認識抗原ペプチドの解析 2. 抗腫瘍免疫応答の細胞性機構 3. がんワクチンの開発 4. 抗原提示機構の研究	医学
腫瘍ウイルス学 TEL 086-235-7385	教授 加藤 宣之	1. C型肝炎ウイルスの複製増殖機構の解析 2. C型肝炎ウイルスによる肝がんの分子機構の解析 3. 肝炎の治療法及び肝発がんの抑制法の開発 4. インターフェロンなどの抗ウイルス作用機序の解析 5. C型肝炎ウイルスによる自然免疫攪乱機構の解析 6. B型肝炎ウイルスの複製増殖機構の解析 7. B型肝炎ウイルスによる自然免疫攪乱機構の解析	医学
分子遺伝学 TEL 086-235-7378	准教授 片山 博志	1. 細胞周期M期調節キナーゼの機能異常による染色体不安定化の解析 2. M期キナーゼの癌関連蛋白質との機能的相互作用の解析 3. 発癌に関わるmicroRNAの同定と標的遺伝子の機能解析 4. 発癌原因遺伝子およびmicroRNAを標的とした癌治療法の開発 5. 癌関連遺伝子群の統合的SNP解析とテーラーメイド医療への応用	医学
呼吸器・乳腺内分泌外科学 TEL 086-235-7262	教授 三好 新一郎	1. 外科腫瘍学 2. 肺癌手術 3. 肺移植 4. 肺癌内分泌療法 5. 肺癌の遺伝子異常 6. 肺癌化学療法・分子標的治療 7. 胸腔鏡手術 8. 呼吸器外科における再生医療	医学
血液・腫瘍・呼吸器内科学 TEL 086-235-7224	教授 谷本 光音	1. 造血幹細胞移植の基礎と臨床:造血幹細胞とその産生, 動員の調節因子の究明, 同種造血幹細胞移植後の移植片対宿主病 (GVHD) のメカニズムの解明 2. 制御性T細胞恒常性を標的とした低用量IL-2によるGVHD治療法の開発 3. 急性前骨髄球性白血病に対する新しい分化誘導療法の開発 4. 肺癌に対する分子標的療法と化学療法の基礎と臨床:抗癌剤耐性機序の分子生物学的解明とその克服 5. 肺癌発癌機構の解明と化学予防 6. COPDおよび喘息の病態と, 治療薬が効果を及ぼすメカニズムの解明 7. アレルギー性炎症におけるヒト好塩基球の役割 8. 間質性肺疾患における線維化病態の解明:線維化に関する因子の分子生物学的研究	医学
放射線医学 TEL 086-235-7309	教授 金澤 右	1. 放射線治療の臨床疫学的研究 2. MR I 温度モニター下の温熱治療の研究 3. 核医学的手法による腫瘍評価法の研究, 特にPET/CTについて 4. Radioisotopeによる局所肝機能評価とその治療応用に関する研究 5. CT・MRIを用いた新しい撮像法及び診断法の研究 6. 肝静脈一時閉塞における肝血行動態の研究 7. 画像ガイド下ラジオ波治療の基礎的・臨床的研究 8. ロボットIVRの開発	医学
消化器外科学 TEL 086-235-7255	教授 藤原 俊義	1. がんの遺伝子治療, 分子標的治療 2. がんの微小環境 (がん関連線維芽細胞など) を標的とする治療研究 3. がんの分子イメージング・蛍光イメージング 4. 外科手術ナビゲーション・システムの開発 5. 消化器癌の遺伝子診断・全ゲノム関連解析 (GWAS) ・薬剤感受性診断 6. 消化器領域の低侵襲治療 (鏡視下手術, ロボット手術) の研究 7. 肝胆膵領域の消化器癌に対するペプチドワクチン療法の開発 8. 化学療法の臨床研究・臨床試験 9. 生体・脳死肝移植の臨床研究 10. 糖尿病に対する膵島移植の臨床研究 11. 肝・膵の再生医学研究	医学
臨床遺伝子医療学 TEL 086-235-7436	教授 豊岡 伸一	1. 全ゲノム・エピゲノム解析による癌の病態解明と治療への応用 2. 癌治療薬に対する感受性・耐性規定因子の研究 3. 新しい遺伝子診断法の開発 4. 上皮間葉移行の分子機構の解明 5. 自己由来増殖因子による気管支創傷治癒の研究	医学

口腔顎顔面外科学 TEL 086-235-6700	教授 佐々木 朗	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔腫瘍に関する基礎的、臨床的研究 2. 癌関連骨病変の制御に関する研究 3. 口腔癌の浸潤・転移に関する研究 4. 癌化学療法の薬剤耐性機構に関する研究 5. 顎変形症患者の顔貌の形態計測学的分析およびその治療法に関する研究 6. 骨・軟骨の形成機構ならびに疾患の分子メカニズムに関する研究 	歯学
臨床薬理学 TEL 086-235-7640	教授 千堂 年昭	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中枢神経系薬物、特に向精神薬物、麻薬関係薬物の神経精神行動薬理学的研究（病態モデルの作成と発現機構に関する研究） <ol style="list-style-type: none"> 1) 意欲・動機付けの脳内発現機構と薬物の作用（脳内自己刺激（快）動物を用いた研究） 2) 難治性うつ病モデルの作成と治療薬の研究（ACTH処理動物を用いた研究） 3) 抗がん剤が精神機能に与える影響（動物を用いた各種精神機能を反映する行動変化を検討） 2. 医薬品による有害作用の発現機序解明と予防対策の確立 <ol style="list-style-type: none"> 1) 抗がん剤による副作用軽減に関する研究 2) 分子標的治療薬の血中濃度と有害事象に関する研究 3) 重合開始剤による有害事象の機序解明 3. 医薬品に関わる臨床試験（治験）に関する研究 <ol style="list-style-type: none"> 1) 適正な臨床試験（治験）の実施に関する研究 2) 医師主導型臨床試験（治験）の実施に関する研究 3) 岡山治験ネットワークの構築に関する研究 	医学
細胞生物学 TEL 086-235-7394	准教授 阪口 政清	<ol style="list-style-type: none"> 1. 炎症性がん進展の分子機構解明とそれに基づく分子標的治療法の開発 2. がん幹細胞単離法の確立と単離がん幹細胞の特性解析 3. がん遺伝子治療への適用と医療用組み換えタンパク質産生の高効率化を目指した哺乳細胞用超高効率遺伝子発現ベクターの開発 4. 細胞の生死を制御するミトコンドリアの機能恒常性維持、分解、新生の分子機構の解析とそれに基づく神経変性疾患の発症、進展機序の理解 5. 神経変性疾患、がん進展の制御を目指した細胞種および細胞内小器官特異的治療用タンパク質導入法の開発 	医学
耳鼻咽喉・頭頸部外科学 TEL 086-235-7302	教授 西崎 和則	<ol style="list-style-type: none"> 1. マウスモデルを使った鼻アレルギー発症機序の解明 2. 非症候群性家族性難聴の遺伝子解析 3. 頭頸部癌癌化に関する分子遺伝学 4. 聴器再生医学 5. 嗅覚障害と再生 6. 頭頸部癌分子生物学的解析 	医学
眼科学 TEL 086-235-7293	教授 白神 史雄	<ol style="list-style-type: none"> 1. 網膜硝子体疾患の病態研究 2. 網膜硝子体疾患の新規治療法の開発 3. iPS細胞由来網膜色素上皮細胞の臨床応用研究 4. トレハロースなどの糖類による眼組織保護 5. 岡山大学方式人工網膜の開発 6. 斜視の遺伝解析 7. 光電変換色素による神経保護 8. 外眼筋固有知覚に関係した眼位の研究 	医学
整形外科学 TEL 086-235-7270	教授 尾崎 敏文	<ol style="list-style-type: none"> 1. 骨軟部腫瘍の発症メカニズムと集学的治療 2. 脊椎及び脊髄疾患の発症メカニズムと外科的治療 3. 関節疾患の病態と治療に関する研究 <ol style="list-style-type: none"> (1) 慢性関節リウマチ，変形性関節症の病態解析 (2) 関節疾患の新しい外科的治療法の開発 4. 運動器再生の研究 5. 小児整形外科疾患の治療体系の確立 6. スポーツ外傷の予防と治療 7. 筋・神経疾患の電気生理学的研究と治療法の開発 8. 骨折癒合の研究と治療法の開発 9. 運動器生体材料の開発 	医学
口腔生化学 TEL 086-235-6645		<ol style="list-style-type: none"> 1. 硬組織（骨・軟骨・歯）の形成・維持・吸収機構および疾患に関する生化学的、分子細胞生物学的研究 2. 硬組織および血管の再生に関する分子細胞生物学的研究 3. 口腔組織における発癌機構に関する研究 4. CCNファミリータンパク質に関する研究 	歯学
口腔形態学 TEL 086-235-6630	教授 山本 敏男	<ol style="list-style-type: none"> 1. 骨組織の形成、吸収機構に関する細胞生物学的研究 2. 口腔粘膜上皮における細胞接着装置の機能に関する細胞生物学的研究 3. 遺伝子導入による骨組織再生機構に関する細胞生物学的研究 4. メカニカルストレスと骨組織動態に関する細胞生物学的研究 5. 鳥類の骨髄骨代謝と卵管の同調機構 	歯学
生体材料学 TEL 086-235-6665	教授 松本 卓也	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生体組織と生体材料との界面制御 2. 歯科接着性修復材料の分子設計と開発 3. 組織再生制御 4. 生体材料を基盤とした新しい生命科学用ツールの開発 5. 歯科材料、生体材料の物性と臨床応用 	歯学

歯科保存修復学 TEL 086-235-6670	教授 吉山 昌宏	1. 象牙質再生療法の開発に関する研究 2. 接着性修復材による保存修復法に関する研究 3. 審美修復法の開発, 確立と臨床応用に関する研究 4. 齲蝕象牙質の細菌学的, 組織学的研究 5. 歯科修復材料への歯質強化作用及び抗菌性の付与に関する研究	歯学
口腔機能解剖学 TEL 086-235-6635	教授 杉本 朋貞	1. 三叉神経系の口腔感覚情報処理機構 2. 脊髄神経系の感覚情報処理機構 3. 末梢神経損傷後の体性感覚情報処理機構の変化	歯学
口腔生理学 TEL 086-235-6640	教授 松尾 龍二	1. 口腔感覚情報の中樞処理機構 2. 口腔感覚による自律神経調節機構 3. 摂食飲水行動の中樞神経機構 4. 嚥下, 嘔吐, 咀嚼の神経機構	歯学
インプラント再生補綴学 TEL 086-235-6680	教授 窪木 拓男	1. 口腔インプラント治療を含む補綴治療の効果・効用に関する臨床疫学 2. 歯や歯槽骨, 口腔粘膜, 関節軟骨, 神経などの組織・器官再生に関する基礎研究, ならびにトランスレーショナル研究 3. 口腔インプラントの骨結合の強化・早期獲得のための分子細胞生物学研究 4. 顎関節症・口腔顔面痛に関する基礎研究ならびに臨床疫学研究 5. 慢性筋痛やブラキシズムの病因・病態解明に向けた基礎研究ならびに臨床疫学研究 6. 関節破壊, 変形性関節症のメカニズムに関する分子細胞生物学的研究 7. 高齢者や有病者の口腔機能リハビリテーションと生活の質に関する研究 8. 摂食嚥下リハビリテーションと栄養管理 9. 接着性レジンや歯科用レーザーに関する基礎研究, 臨床応用研究, および臨床疫学研究	歯学
歯科矯正学 TEL 086-235-6690	教授 上岡 寛	1. 歯の移動と骨のメカニカルストレス受容機構に関する基礎研究 2. バイオイメージングを用いた骨形態計測学的研究 3. 歯の移動に関する細胞生物学, 免疫組織化学, 分子生物学, 神経解剖学的研究 4. 歯根膜再生に関する細胞生物学, 分子生物学的研究 5. 顎・顔面の成長発育並びに先天異常に関する骨・軟骨細胞生物学, 分子生物学的研究 6. 不正咬合, 顎関節症患者の運動生理学ならびに臨床疫学研究 7. 矯正治療に伴う歯列, 顎, 口腔の形態と機能の変化に関する研究	歯学
顎口腔再建外科学 TEL 086-235-6695	教授 飯田 征二	1. 顎骨再生医療の臨床応用への細胞・担体複合移植手技の開発とその効率化のための生体内成長因子の応用 2. 骨吸収機構の分子遺伝子学的解明と骨吸収抑制への臨床応用に関する研究 3. 三次元画像診断装置を用いた顎骨の形態的定性的研究 4. 口腔癌及び口腔疾患における抗菌抗腫瘍ペプチドに関する研究 5. 口唇・口蓋裂, 顎変形症患者の発生機序検索及び顎・顔面形状計測による運動機能解析と発育・手術評価 6. 人工顎関節, 人工顎, 歯科インプラントの開発及びその臨床応用と機能評価に対する研究	歯学
咬合・有床義歯補綴学 TEL 086-235-6685	教授 皆木 省吾	1. 頭蓋下顎機能異常(顎関節症)の発症機序に関する研究 (夜間ブラキシズムの発生機序, 増強因子, 減少因子に関する研究) 2. 歯根膜感覚と夜間ブラキシズムの関連およびその病態分類に関する研究 3. 歯槽骨及び周囲組織の再生に関する分子生物工学的研究 4. 口腔インプラント周囲支持組織の治癒機構に関する研究 5. 疼痛と顎機能との関連に関する研究 6. 顎関節症と, 顎関節へのメカニカルストレスとの関連に関する基礎的ならびに臨床的研究 7. 構音障害の治療に関する研究 8. 咀嚼と脳機能に関する研究 9. 高齢者の顎口腔機能に関する研究 10. 咀嚼機能に関する研究	歯学
歯科麻酔・特別支援歯学 TEL 086-235-6720	教授 宮脇 卓也	1. 口腔侵襲による生体反応とその制御に関する研究 2. 歯科静脈内鎮静法に関する臨床研究 3. Alpha-2アドレナリン受容体アゴニストの抗炎症作用に関する研究 4. 静脈麻酔薬・鎮静薬の薬物動態に関する研究 5. リポソームを用いた薬物キャリアに関する研究 6. 障がい者の口腔健康維持支援に関する臨床研究 7. 摂食・嚥下リハビリテーションに関する臨床研究	歯学
病原細菌学 TEL 086-235-7157	教授 松下 治	1. 細菌のコラゲナーゼに関する研究 1) 機能性ドメインの構造活性相関と再生医療への応用 2) 細菌の生態学と遺伝子発現調節に関わる分子機構 2. 細菌の神経毒素に関する研究 1) ボツリヌス毒素の構造活性相関 2) ボツリヌス毒素の治療への応用	医学

病原ウイルス学 TEL 086-235-7163	教授 山田 雅夫	1. ヘルペスウイルスに関する研究（ヒトヘルペス6型, 7型, 単純ヘルペス, サイトメガロウイルスを中心に） 1) ウイルスの形態形成に関する研究 2) ウイルスに対する宿主免疫応答の解析 3) 病原性, とくに潜伏感染機構の解析 2. 臨床ウイルス学的研究 1) 易感染性宿主のウイルス感染症の研究 2) ウイルス感染症における宿主・環境因子の関与	医学
口腔微生物学 TEL 086-235-6657	教授 大原 直也	1. 歯周病原細菌の病原性に関する研究 2. 抗酸菌の病原性に関する研究 3. 組換え生菌ワクチンの開発研究 4. 骨感染症に関する研究 5. 細菌感染と慢性炎症性疾患および生活習慣病との関連性についての研究	歯学
小児歯科学 TEL 086-235-6715	教授 仲野 道代	1. 齶蝕原性細菌の病原性に関する研究 2. バイオフィーム形成における口腔レンサ球菌のシグナル伝達システムに関する分子生物学的研究 3. 植物抽出物の齶蝕発生に対する抑制メカニズムに関連する研究 4. 齶蝕原性細菌の母子伝播および定着に関連する分子生物学的研究 5. 小児における歯列咬合の育成に関する研究	歯学
生命倫理学 TEL 086-235-6742	教授 栗屋 剛	1. テクノロジーによる人間改造とその倫理的, 社会的限界に関する研究 2. 現代の人体所有権に関する研究 3. 人体資源化, 商品化に関する研究 4. 臓器売買に関する研究 5. 死の概念及び脳死説の位置づけに関する研究	医学
疫学・衛生学 TEL 086-235-7173	教授 土居 弘幸	1. 理論疫学 2. マルチレベル分析学 3. 社会疫学・産業疫学・環境疫学分野の研究と実践応用 4. 健康危機管理 5. 地域医療学 6. 臨床疫学, evidence-based medicine	医学
医療政策・医療経済学 TEL 086-235-7171	教授 浜田 淳	1. 医療政策 2. 医療機関の管理・経営 3. 医療経済学 4. 社会保障論	医学
公衆衛生学 TEL 086-235-7184	教授 荻野 景規	1. 予防医学 ①新しい炎症バイオマーカーであるアルギナーゼを用いた生活習慣病のリスク評価 ②遺伝子改変マウスによる酸化ストレスと老化・疾病機序の解明 2. 環境保健 ①喘息予防法の開発 ②大気中浮遊粒子状物質 (PM2.5, PM10) と疾患 3. メンタルヘルス・産業保健	医学
法医学 TEL 086-235-7194	教授 宮石 智	1. 法医学情報の公衆衛生的応用に関する研究 2. ミオグロビンの法医診断への応用 3. 乳幼児突然死に関する研究 4. マイクロRNA分析の法医学への応用 5. 疾患特異的マイクロRNAの死体血からの検出 6. 薬毒物の死後の体内動態 7. 剖検試料中の揮発性物質の分析による死因究明法の開発 8. 死体試料からの新しい死後経過時間推定法の確立	医学
医療情報学 TEL 086-235-7976	教授 合地 明	1. 医療情報ネットワークシステム (LAN および WAN) 2. 電子カルテと医療情報データベースシステム 3. 情報セキュリティと公開鍵基盤 4. 医療情報交換の基盤技術 (用語の標準化, 交換プロトコール) 5. 医療のモデリング	医学
総合内科学 TEL 086-235-7342	教授 大塚 文男	1. 様々な内科疾患の病態生理に対する分子生物学的アプローチ 2. 血管作動物質による血圧調節機構及び高血圧の発症・進展機構の解明 3. 成長因子による内分泌調節機構の解明と臨床応用 4. 動脈硬化の成因の解明と治療法の開発 5. 動脈硬化症のイメージングと薬物標的化技術 6. サイトカインによる骨粗鬆症の発症メカニズムの解析 7. 全てのHLAクラスIを対象としたCMV特異的CTL監視法および樹立法の開発 8. 不明熱の原因・病態におけるレトロスペクティブな解析 9. 耐性菌感染症の解析	医学
予防歯科学 TEL 086-235-6710	教授 森田 学	1. 歯科疾患予防の公衆衛生的研究 2. 歯科疾患と酸化ストレス 3. 歯周病が全身に与える影響 4. 口臭の原因と治療に関する研究 5. 歯科疾患の社会疫学 6. 唾液タンパク質に関する研究 7. 口腔乾燥に関する研究	歯学

